



2022年4月11日

各位

会社名 株式会社セレコーポレーション
代表者名 代表取締役 社長執行役員 神農 雅嗣
(コード番号：5078 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 常務執行役員 経営統括本部長 山口 貴載
(TEL 03-3562-7264)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月11日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年3月11日に開示した2022年2月期（2021年3月1日～2022年2月28日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2021年3月1日～2022年2月28日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 19,385	百万円 1,160	百万円 1,049	百万円 10,452	円 銭 3,236.92
今回修正予想（B）	18,424	911	980	10,679	3,307.36
増減額（B－A）	△960	△249	△68	227	
増減率（％）	△5.0	△21.5	△6.5	2.2	
（参考）前期連結実績 （2021年2月期）	17,084	1,051	1,118	576	176.60

2. 修正の理由

売上高につきましては、賃貸開発事業において当初2月末までに販売を計画していた物件の引渡ししが、翌期にずれ込んだ影響で減少する見込みとなりました。

また、営業利益は、前回開示しました業績予想の法人税等において、中国賃貸事業の譲渡収入の影響を受ける外形標準課税計算の付加価値割を含めて計上しておりましたが、法人事業税の外形標準課税に係る付加価値割は、販売費及び一般管理費である租税公課として計上されるため、販売費及び一般管理費が186百万円増加することとなり、業績予想を下回る見込みとなりました。

なお、経常利益は、中国賃貸事業の譲渡収入の送金に伴う為替差益170百万円を営業外収入に計上したことから、営業利益と比べて減少幅が小さくなっております。

以上を踏まえ、税金計算を行った結果、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、業績予想よりも増加する見込みとなりました。

以上